

# 飲酒運転みんなまで根絶!

## お酒を飲んだら絶対に運転はしない

いまだに各地で飲酒運転による悲惨な事故が後を絶ちません。これから年末年始にかけて、飲む機会も増えてくることでしょう。わずかなお酒でも、運転能力・判断能力を鈍らせるおそれがあり、ちょっとだけの軽い気持ちで、重大な事故につながります。ドライバー自身が飲酒運転をしないことは当然ですが、周りの人も、酒の席に車できている人や、車を運転する予定がある人にはお酒をすすめない、お酒を飲んだ人が運転しようとしているときは止めるなど、「乗らない」「乗せない」「飲ませない」を守り、みんなで協力して飲酒運転を根絶しましょう。

## 飲酒運転の危険を正しく理解しましょう

### ❗ 見落としが増える

わずかな飲酒でも、動くものを見る際の「動体視力」が低下したり、視野が狭くなったりして、他車（者）や信号などを見落としやすくなります。

### ❗ 反応時間が延びる

危険を察知してからブレーキを踏むまでに要する「反応時間」が延びるため、いざというときに危険を避けられないおそれがあります。

### ❗ 誤操作が増える

ハンドル操作を誤ったり、ブレーキとアクセルを踏み間違えたりして、事故を起こす危険性が高くなります。

### ❗ なかなか醒め<sup>さ</sup>ない

日本酒を2合程度飲んだだけでも、血液中のアルコール濃度が平常時に戻るまでには7時間ほどかかるという実験結果があります。また、お酒を飲んで2、3時間たった時点で「もう覚めた」と感じている人がいるかもしれませんが、日本酒を2合程度飲んだあと、血液中のアルコール濃度が最も高くなるのは2時間後くらいですので、この時点での運転は明らかな飲酒運転となります。

